

風と水の歌が、 聞こえてくる。



NAGANUMA NATURE



至堂鬼面山に源を発する江花川——。長沼には、暮らしを優しく見守るふたつの川がある。水ぬるむ春。清らかな水がたんぽを潤す。ほくほくの土に水が張られ、柔らかな苗を迎え入れる。田畑をそよぐ風が、いつしか、輝く季節の喜びを歌い出す。あたかも、農を営む人々を励ます歌のように、心強くかろやかに……。それは、山より出ずる水の流れを敬愛し、豊かな土を耕し、天の恵みを待つ喜びを知る者だけに聞こえる歌だ。

あるがままのものを、そのままに、心静かに受け入れること。それができたとき、人は、ふだんは聞くことのできない自然のハーモニーを、耳にすることができるともかもしれない。長沼の水の音に、ふと耳をすませば、風と水の歌が流れている。口ずさみたくなるように、爽やかで清らかで、優しいぬくもりのある旋律を、人々の心の旅路に刻みながら。